

西郷港周辺地区デザインコンペ1次審査 結果報告

このたびは、隠岐の島町西郷港周辺地区デザインコンペにご参加いただき、大変ありがとうございました。

全国から42件のご応募をいただくことができました。どの応募案も力作ぞろいで、審査委員会および隠岐の島町としても大変うれしく思いました。

どれも優れた魅力的なご提案でしたので、選考は難しかったのですが、以下のような手続きのもとに進めました。

選考の全体的な手続きについてご説明させていただき、ご報告といたします。

令和4年1月13日

隠岐の島町長 池田高世偉

隠岐の島町西郷港周辺地区デザインコンペ審査委員長 桑子敏雄

1. 審査委員会までのプロセス

(1) デザインの公開展示

デザイン案を町民のみなさんに見ていただき、意見を委員会での議論に反映させることを目的として、12月10日(金)～12月17日(月)にかけて応募42作品をショッピングセンターサンテラス2階ロビーにて公開展示しました。意見募集の方法は、よいと思った作品を選び、意見用紙に作品番号と選んだ理由を記入して、意見箱に投函してもらい、これを集約しました。その結果、計64件の意見を頂くことができました。

デザイン意見交換会と審査委員会には、頂戴したすべての意見を作品とともに会場に展示し、意見交換会参加者のみなさんに見ていただくとともに、当日午後の審査委員会の議論にも反映しました。

(2) 子どもたちの意見募集

まちづくりの基本理念である「世代をつなぐまちづくり」の具体化として、隠岐の島町立西郷小学校の6年生全員(44名)、隠岐の島町立西郷中学校の3年生全員(42名)、島根県立隠岐高校商業科の3年生全員(17名)を対象として、まちづくりデザイン授業を行いました。

まちづくりデザイン授業では、小学生と高校生には、展示会場に来てすべての作品パネルをみて、意見を書いてもらいました。また、中学生にも展示会場で作品をみてもらい、学校では、ワークショップ形式のグループワークを行って、各自よいと思った作品について意見を書いてもらい、リーダーがこれをまとめて、チームごとに発表・議論しました。

こどもたちの意見もすべてデザインコンペ意見交換会の会場に展示するとともに、デザインコンペ審査委員会の検討資料といたしました。

(3) 審査委員の意見集約

審査委員会委員には、応募案の電子データおよび印刷したものを事前に配布し、審査をお願いしました。

審査の方法は、一次審査通過作品として、委員会から隠岐の島町に推薦すべき作品、推薦を検討すべき作品、その両者にも入らない作品に区分していただきました。

第二次審査に進めることのできる作品点数は、5点でしたので、審査委員には、各自5点の「推薦すべき作品」を選び、推薦理由を記入していただきました。事務局では、これを整理し、審査委員会委員の意見も当日の意見交換会で、参加者に見ていただけるようにしました。また、審査委員会の資料としました。

(4) デザインコンペ意見交換会の開催（12月19日（日）10：30～12：30）

当日は雪のため、参加者は多くなかったのですが、だれでも参加できる場として開催し、審査委員も参加しました。コロナ禍ということで、来島できなかった審査員は、会場前方の大型スクリーンでのオンライン参加としました。

意見交換会では、推薦意見の多かった作品を中心に、町民、こどもたち、審査委員が一時通過案としてふさわしいと思う提案について、とくに推薦理由について討論しました。

意見交換会の様子はだれでも見られるように、YouTubeで全国ライブ配信しました（2022年1月13日現在で641回視聴されています）。

(5) デザインコンペ審査委員会の開催（意見交換会終了後、13：30～17：00）

意見交換会でとりあげた作品を中心に、審査員それぞれの専門分野および行政的視点、市民からの視点から、二次選考に推薦すべき作品を5作品選ぶ方針で議論を行いました。

はじめ審査委員全員が全18件の推薦案件について、推薦理由を説明しました。町民やこどもたちの推薦案件は、この18件のなかにすべて含まれておりました。

この18作品は次の通りでした。

作品番号「1, 5, 6, 7, 8, 10, 15, 17, 22, 24, 25, 26, 28, 31, 34, 37, 41, 42」

つぎに、さらに議論を深めるために、要求水準との整合性のチェックを行い、10作品を選びました。

この10作品は次の通りでした。作品番号「5, 7, 8, 10, 17, 25, 26, 34, 37, 41」

最後に、事務局から提案者の組織体制の説明があり、委員会では、これも参考にしながら議論を積み重ねて、最終的に6作品を隠岐の島町に一次選考通過作品として推薦すること

を決定しました。

この6作品は次の通りでした。作品番号「5, 10, 25, 26, 34, 37」

議論のなかで大切にしたことは、推薦理由であり、すぐれた作品である理由について議論しました。ネガティブな点については、選ばない理由にはせず、優れたものをピックアップするという形で選考を進めました。

(6) 隠岐の島町の決定

隠岐の島町では、審査委員会の推薦を受けて、全6作品が二次選考に進めるべき作品との判断を行い、これを決定しました。

(附録) 提案作品一覧

No	テーマ
1	隠岐の家プロジェクト
2	OKI no KAKEHASHI
3	緑でつなぐランドスケープ
4	本人の希望により未掲載
5	隠岐の島〈アイノマ〉ゲート
6	風待ちの丘
7	隠岐の暮らしつなぐ風景
8	海のグランド プラットフォーム
9	道のヤネ
10	みなとまちの記憶を継承し、豊かに住む
11	にぎわい会館
12	西郷・港前マルシェ構想
13	「あいだ」をつなげる 魅力がつながる
14	西郷港エリアの Re:Design
15	かぜまちターミナル
16	デッキでつながる、歩く港まち隠岐
17	みんなのまち西郷
18	パーク・メディアとしての西郷港周辺計画
19	おきにいい
20	合いの手を入れる
21	島の前庭・隠岐地域の前庭
22	海と台地につながる、文化の中心「西郷」
23	リンキング・リング
24	懐かしく、新しい港町
25	広場が生ま出す 隠岐の新しい風景
26	隠岐うみまち再生計画
27	本人の希望により未掲載
28	隠岐の島玄関としての西郷港に相応しい持続可能な街の再生
29	海とともに暮らす新島守プレイス
30	未来の隠岐の島を創る
31	多様な出合いでつながる交流発信拠点
32	さまざまな「道」でつながるまち
33	成長していく島のプラットフォーム
34	西郷港ポートキャンパス
35	島のとびらをひらく
36	Umimachi gate
37	少しずつふくらます
38	隠岐のみちでつなぐ“三つの縁”
39	海-町-台地をつなぐ みちの玄関口
40	隠岐の島町西郷港周辺地区計画
41	みんなが集う「まあるい」広場
42	つなぐ、